



筑摩だより

松本市立筑摩小学校

令和7年5月 発行

松本市筑摩1-8-1

電話 25-0090

今年度の筑摩小学校が目指すこと

令和7年度がスタートして1カ月が経ちました。4月22日（火）には、全校参観日として、たくさんの保護者の方に来校いただき、お子さんの様子を見ていただきありがとうございました。また、校長講話では「『やりたい』を見つけ、自分なりの方法で自ら行動する子ども」の育成を目指して、今年度の取り組みについてもお話をさせていただきました。



参観日の参観授業



参観日の校長講話

校長講話で話しましたように、中学校の部活動の地域移行に合わせて、本校の自主活動も地域移行していきますが、「やりたいという子がいれば続けさせたい」、体験的な活動も実施学年を絞ったりしますが、「地域ならではの体験はさせたい」と、活動の基になる「やりたい」という思いの醸成を学校としては大切に考えています。そして、その思いをもとにその後の活動や学びを継続していったほしいと願っています。

そこで、これまで取り組んできた自由進度学習の形態での授業や、家庭学習での「けてぶれ（計画、テスト、分析、練習）」の推奨。フリースタイルプロジェクト（自分でやりたい課題を設定して、計画を立て、その振り返りをしながら活動を進めていく）などに、今年度も継続して取り組み、今年度はお家の方や地域の方にも見ていただく機会を設けたいと思います。

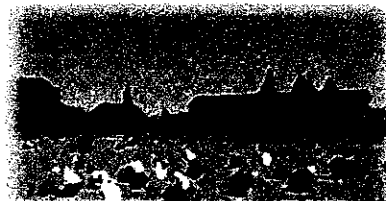


教職員の自由進度学習研修

また、今年度は運動会実行委員会を立ち上げ、子どもたちの企画のもとに行います。さらにコミュニティスクールの形態も変わります。子ども、保護者の方、地域の方、教職員、みんなが一緒になって「どんな子どもたちを、どんな地域を、どんな筑摩小学校を作っていくのか」を考えていきたいです。学校からの案内を積極的に発信していきますので、子どもたちの様子を参観したり、一緒に活動したりするなど、ご来校をお待ちしています。



運動会実行委員長からのスローガン発表
朝の係会（委員会毎に分かれての活動）



P T A ・地域の方・学校が一緒になって話し合う
コミュニティスクール運営協議会

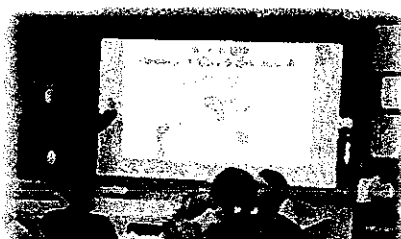
4月の学校の様子

4月は自分の命や安全を守る学習、健康で過ごせるように検診や生活に関わる学習もたくさん行いました。また、地域の方と一緒に活動もたくさんありました。



4月15日(火) 避難訓練

今年度初めての避難訓練でしたが、雨天のために体育館での避難になりました。ほとんどの子が静かに避難をすることができました。後日、各学級では校庭への避難経路を確認しました。



4月16日(水) 5年メディア講座

便利だからこそインターネットなどの各種メディアを上手に使うことが大切です。ゲームによる依存症や犯罪など、悪影響があることも学習しました。家での約束を決めて使っていきましょう。



4月18日(金) 集団下校訓練

もしもの時に行う集団下校ですが、訓練の時と同じように、普段の登下校の際にも道に広がらないで、周りの状況などにもよく注意をして、安全に歩くようにしていきます。



4月24日(木) 1年生を迎える会

6年生と手をつないで1年生が入場し、2年生と6年生から歓迎の発表がありました。6年生の発表で「つかまレンジャー」と「あくあく団」が登場すると会場全体が大喜び。みんなでクイズに正解し、あくあく団を倒しました。1年生からも元気な歌の発表があり、全校で温かな雰囲気を作ってくれた素敵な会でした。

【学校からの連絡】

今年度も教職員の非違行為防止に向けて研修を毎月行います。また、毎学期の初めには次のチェックシートを使って、自分を振り返ったりお互いに気を付けたりする機会を設けます。4月に希望懇談の時間を設けましたが、いつでもお子さんや保護者の皆様からの相談に応じますのでご相談ください。

非違行為防止チェックシート

自己チェックをして、非違行為防止に向けた決意を新たにしましょう。

1学期	2学期	3学期	項目
【飲酒運転・事故防止のためのチェックポイント】			
			少量でも飲酒したら絶対に自動車運転しないという強い決意がある。
			夜通まで飲酒した場合には、翌日の午前中は自動車の運転をしないようにしている。
			自動車を運転する者に酒をすすめた者も同罪であるという認識がある。
【個人情報保護防止のためのチェックポイント】			
			個人情報の保存は施錠できる場所に行っている。活用状況も把握している。
			やむを得ず、個人情報が記載された文書・書類やパソコン・電子媒体等を校外へ持ち出すときには、校長の許可を得て「個人情報持ち出し簿」に記入している。
			持ち出したものは常時携帯し、車内に放置するなど絶対にしないようにしている。
			個人情報がかかっている電子データにはパスワード等による情報のセキュリティ対策をしている。
【体罰防止のためのチェックポイント】			
			生徒指導にあたっては、報告・連絡・相談を心がけて指導方針・指導方法の共通理解を図り、学校や学年等のチームで協力して取り組んでいる。
			児童が指導に反発なかったり、反発的な態度をとったりした場合でも、一時的な感情に走ることなく、冷静に対応している。
			児童の心を傷つける不意な言動や差別的な扱いをしないようにしている。
			児童を因循的にとらえ、性格や特徴などをきめて指導することがないようにしている。
			ペナルティを課す、過剰責任を課する等の指導方法に陥らないようにしている。
【セクハラ行為防止のためのチェックポイント】			
			身近な言動を見直し、互いの言動について指摘し合えるような雰囲気や人間関係になるように、他の職員と接している。
			拒否や嫌だと意思表示できない場合も多いということを認識している。
【わいせつ行為防止のためのチェックポイント】			
			児童への指導は行わず、ドアを開けたり、できる限り視察で行ったりしている。
			児童の感情は多様多岐であることもふまえ、たとえ6年1組の意図があっても不意にかたや頭を含めて児童の体には触れないように心掛けている。
			児童や保護者と個人的なメールの送受信をしないようにしている。
【金銭等を適正に扱うためのチェックポイント】			
			徴収金があった場合、集金後速やかにかしこみ金庫に預金するなど処理している。
			出納簿や領収書は整理している。
			個人の金銭と公金や学校徴収金を明確に区別している。
【交通違反・事故防止のためのチェックポイント】			
			自動車を運転する際は、時間的にも精神的にもゆとりを持って行うようにしている。

(文責：教頭 安藤幸彦)